

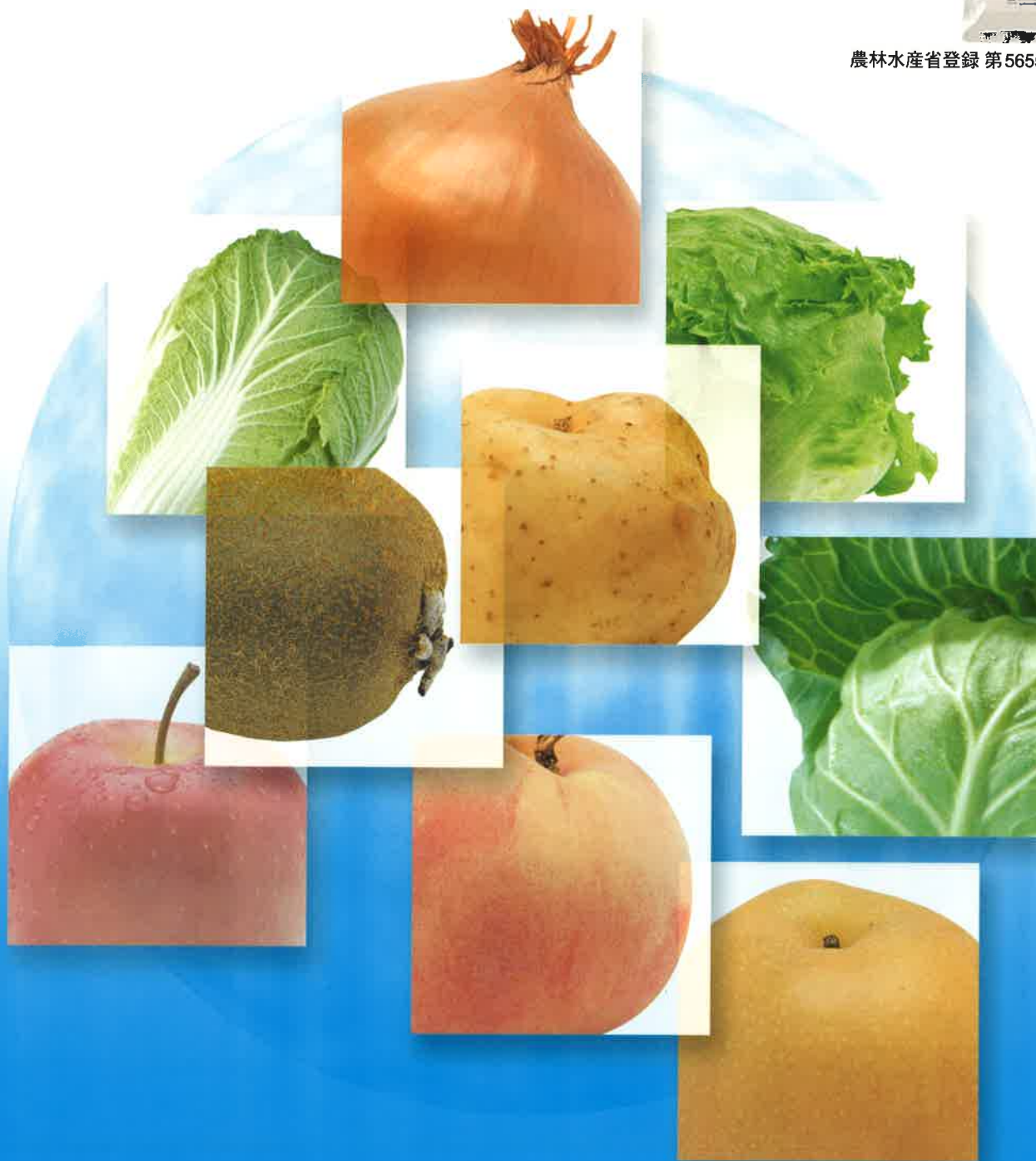
細菌性病害の防除に

AG アグレプト水和剤

成分：ストレプトマイシン硫酸塩 25.0% (ストレプトマイシンとして 20%)



農林水産省登録 第5655号



●特長

1. ストレプトマイシン剤で野菜、果樹などの細菌性病害に優れた効果を発揮します。

●適用病害および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ストレプトマイシンを含む農業の総使用回数
りんご	枝枯細菌病	2,000倍	収穫60日前まで	3回以内	散布	3回以内
			収穫75日前まで			
なし	せん孔細菌病	1,000～2,000倍	収穫60日前まで	2回以内		2回以内
もも	黒斑病 かいはよう病	1,000倍	収穫30日前まで			
うめ	かいはよう病	1,000～2,000倍	収穫90日前まで	4回以内 (樹幹注入は1回以内)		
キウイフルーツ	花腐細菌病	1,000倍	収穫90日前まで			
さるなし			開花前	2回以内		2回以内
キャベツ	黒腐病	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内		
はくさい	軟腐病	1,000～2,000倍	収穫14日前まで	2回以内		2回以内
レタス	腐敗病	2,000倍	収穫14日前まで	6回以内		6回以内 (種いもへの処理は1回以内)
こんにゃく		1,000～2,000倍	収穫30日前まで			
たまねぎ	軟腐病	1,000倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内 (種いもへの処理は1回以内)	
ばれいしょ	疫病	1,000～1,500倍				
	軟腐病	1,000倍				
	そうか病 黒あし病	60～100倍	植付前	1回	5～10秒間 種いも浸漬	
たばこ	立枯病	1,000倍	収穫3日前まで	2回以内	散布又は株元灌注	2回以内

●効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤との混用はさけ、また、ボルドー液を混用する場合は使用直前に混合して下さい。(効果)
- 薬害としてクロロシス(黄化現象)を生じることがあります。特に高温多湿時には留意の上散布して下さい。(薬害)
- 過度の連用をさけ、作用性の異なる薬剤と輪番使用して下さい。(耐性菌出現回避)
- ばれいしょの種いも消毒に使用する場合は下記の事項に注意して下さい。
 - ①萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるのでさけ、必ず萌芽前に種いもを切断せずに処理して下さい。特に植付後の地温の上昇が遅れた場合には萌芽や生育遅延が助長されるので春先の気温が低い地域では注意して下さい。
 - ②浸漬処理が長くなったり、高濃度液に浸漬すると薬害が生じやすいので所定の浸漬時間及び希釈倍数を厳守して下さい。
 - ③薬剤処理した種いもは長時間ぬれたままにしておくと発芽遅延等の薬

- 害を生じるので、風通しのよい場所ですみやかに乾燥させて下さい。
- ④種いもを切断する場合は処理した薬液が十分乾いてから行って下さい。
- ⑤薬剤処理した種いもは食料又は飼料には使用しないで下さい。
- はくさいにおいては、高温時又は幼苗期には使用しないで下さい。(薬害)
- キウイフルーツの花腐細菌病に使用する場合は、出蕾後～開花期までが散布適期です。(効果)
- レタス及びキャベツに対しては、高温条件下での連続散布はさけて下さい。(薬害)
- なし及びりんごに対しては、重複散布や多量散布を避け、所定濃度を厳守して下さい。(薬害)
- 有効年月内に使用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

●安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。(刺激性)
- 散布時は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをして、衣服を換えて下さい。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。この印刷物の内容は2006年11月現在のものです。

【お問い合わせ／ご注文は】



明治製菓株式会社

〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
http://www.meiji.co.jp/agriculture/

AGR-1
K061150